

はじめに

レントの旅は、父のみこころに従いエルサレムに向かうイエスに従い、イエスの死と復活にあずかる旅です。

この「黙想の手引」は、「エルサレム入城」から始まる、イエスの地上のご生涯の最後の一週間を、マタイの福音書に従って想い見、レントの期間を通して、イエスの十字架への道を共に歩もうとするものです。そうすることによって、イエスが私たちの人生を共に歩んでくださることを日々の生活の中に見出すことができるなら、幸いです。

この手引を使う前に、次ページの「使い方」をお読みください。これは、独立した読み物ではなく、聖書黙想の手助けにすぎません。聖書を開かないで、この冊子だけを読むことがないようにしてください。

執筆者は、次の通りです。各ページの末尾に執筆者の

イニシャルが記されています。

- 井下 泰文 (YI) ウェストコピナ教会牧師
小西 健二 (KK) サンアントニオ教会牧師
大川 道雄 (OM) 北米ホーリネス教団名誉牧師
大久 保満 (MO) アンカーサウスベイ教会牧師
杉村 宰 (TS) アーバイン・キリスト教会牧師
高木 牧人 (MT) ロサンゼルス・ホーリネス教会牧師
鶴田 健次 (KT) ラスベガス日本人教会牧師
横井 滋幸 (SY) コロラド日本語教会牧師
依藤 慎太郎 (YS) ハリファックス・ジャパニーズ・
バイブル・フェローシップ代表
中尾 フィリップ (PN) ダラス永楽長老教会日本語
ミニストリー協力牧師
中尾 照代 (TN) 同夫人

なお、聖句は新改訳2017より引用しています。引用の後の括弧内の数字はその箇所を指します。

ろぼと子ろぼとを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。そこでイエスはその上に座られた。(7)

イエスは弟子たちを連れ、エルサレムに進んで行かれました。祭司長たちや律法学者たちがいろいろ策略を巡らし、イエスを捕えようと躍起になっていた、その拠点に近づかれたのです。見方を変えれば、わざわざ逮捕され、十字架刑に処されるためでした。

まず二人の弟子たちが遣わされました。子ろぼを連れて来させるためです。飼い主も、「主が入り用なのです」と言われたらすぐに渡してくれるということでしたが、果たしてイエスが言われた通りになりました。飼い主が渋ることなく貸し出してくれたのは、聖霊なる神が先んじてその心に働きかけておられたことと同時に、預言の成就

です(ゼカリヤ9・9)。神は人の思いを遙かに超えて働かれ、全てを用いてご自身を現されます。造り主が権威をもって事をなされる時、人はそのお方の前に圧倒されます。(しかし私たちはそれほど敏感ではありません。)

イエスは預言の通り、王としてエルサレムに入られました。戦争に用いられる馬ではなく、弟子たちに用意させた子ろぼに乗られました。おもに荷物の運搬や農耕に用いられた動物で、それも子ろぼに座られました。イエスの目の高さを思い巡らしてみましよう。多くの群衆からは見下ろされる位置にあつたのではないのでしょうか。子ろぼですから、ひよつとするとまたが跨るだけで、一緒に歩かなければならなかつたかもしれません。

祈り 父なる神様、あなたと和解させていただいたのは、御子が低くされたことによります。 YI

それでイエスはその木に「今後いつまでも、おまえの実はならないように」と言われた。すると、たちまちいちじくの木は枯れた。(19)

イエスは、この朝も都に出かけられました。その途中、空腹を覚えられました。イエスが空腹を覚えたことは、イエスが完全に人となられたことを表しています。道端に一本のいちじくの木が見えたので、行ってみると、葉があるだけで、ほかには何もありませんでした。神の前におけるイスラエルの姿です。イエスはその木に「今後いつまでも、お前の実はならないように」と言われると、たちまちその木は枯れました。かんしやく 癩癩かを起したのではありません。イスラエルには、預言者たちを通して神の言葉が語られており、彼らは、神に立ち返り、結ぶべき実を結んでいなければならなかったのです。

弟子たちは驚いて、「どうして、すぐにいちじくの木が枯れたのでしょうか」と尋ねました。イエスは彼らに、「まことに、あなたがたに言います。もし、あなたがたが信じて疑わないなら、いちじくの木に起こったことを起こせるだけでなく、この山に向かい、『立ち上がって、海に入れ』と言えば、そのとおりになります。あなたがたは、信じて祈り求めるものは何でも受けることになりまし」と言われました。イエスは、弟子たちに、山を動かせるようになって欲しかったのではなく、神が、普段のどんな祈りも聞いてくださることを確信させたのだと思います。

祈り 主よ、あなたは祈る者の祈りを聞いてくださいます。必要なら、山をも動かす許可を与えることができる方の前に、低くへりくだります。 YI

目の見えないパリサイ人。まず、杯の内側をきよめよ。そうすれば外側もきよくなる。(26)

「人は見た目が9割」とはよく言われることです。様々な調査によると、50%以上は、容姿や表情、また態度など、目から入ってくるもので初対面の印象が決まると言われています。40パーセントは、話し方や声のトーンなど、耳から入ってくるもので、その人が話す内容は、印象の10%にも満たないそうです。ですから、多くの人は「見た目」を良くして、良い印象を持つてもらおうと努力するのです。

人に不快な思いを抱かせないための身だしなみは大切です。しかし、内面を正すことをしないで外面だけを取り繕っても、内面に確かなものがない、罪深い思いを隠し持っていれば、それらは、遅かれ早かれ、表面に現れてきます。美しい肌を

保ちたければ、内臓が健康でなければなりません。化粧品でカバーするだけではだめなのです。

身体的なものでさえ、内側のものが外側に現れるとしたら、霊的なものはなおさらです。

預言者サムエルが、ダビデの兄弟を見て、彼こそ主が選ばれた者だと心に思ったとき、主はこう言われました。「彼の容貌や背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」(第一サムエル記16・7) イエスもまた、神が「隠れたところで見ておられる」お方であり、人の目には触れない内面の動機や真実を見ておられるお方であると教えておられます(マタイ6・4、6、18)。

祈り 主よ、隠れた罪から解放してください(詩篇19・12)。

PN

すると、大祭司は自分の衣を引き裂いて言った。「この男は神を冒瀆した。なぜこれ以上、証人が必要か。…」(65)

最高法院がイエスに与えた罪状は「冒瀆罪」でした。イエスが自分をキリストとしたからというのが、その理由です。イエスがキリストである証拠は、その罪のない人格、真理の教え、あわれみの心から出て、聖霊の力によつてなされた数々の奇跡など、誰の目にも明らかなのに、自らを真と偽、善と悪、正と邪の審判官と自認していた指導者たちには、それが見えていなかったのです。だから、彼らは「神の御子」また「子なる神」であるイエスを「冒瀆罪」で裁いたのです。そして、それこそが最も大きな冒瀆であることに気付いていなかったのです。

今日の私たちも人をその外側で量ります。お

しやれな服装をして、愛想をふりまき、その場を盛り上げてくれる人であれば「素敵な人」ですが、信念を持つて行動し、間違つたことに同調せず、それに「ノー」と言う人は「煙たい人」と見なされます。その人が神に対して誠実であるかどうかというよりも、人々に対して「ナイス」であるかどうかで人を判断します。

そんな基準から言えば、イエスは、いわゆる「ナイス」な人の部類には入りません。それで、現代は、いつしかイエスが片隅においやられ、ピュラーな人の顔だけが幅をきかせるようになってのかも知れません。人間が神であるイエスを裁く立場に立つという、逆さまなことがまかり通るのは恐ろしいことです。

祈り 主よ、あなたを裁くという最も愚かで、破壊的な冒瀆の罪から私たちを救ってください。PN

十字架につけられたイエスを捜しているのは分かっています。ここにはおられません。前から言っておられたとおり、よみがえられたのです。(5~6a)

金曜日の夕方、イエスの葬りが慌しくなされたため、マグダラのマリアともう一人のマリアは、イエスを丁寧に埋葬するため墓に来ました。それは安息日が終わった週の初めの日の明け方のことでした。それまでの間、墓を塞いだ大きな石が封印されたことや、主の使いが天から降りて来て地震が起こり、墓の大きな石がわきに転がったこと、また、墓の番をしていた兵士たちが主の使いの姿の恐ろしさに震え上がって死人のようになってしまったことなど、彼女たちは何一つ知りませんでした。そんな彼女たちに、御使いは「イエスはよみがえられたのです」と告げました。

使徒パウロが「キリストは…聖書に書いてある

とおりに、三日目によみがえられた」(第一コリント15・3~4)と記しているように、イエスがよみがえられたのは、死んで「三日目」のことで、それは安息日の翌日、「週の初めの日」でした。イエスは、なぜ、この日によみがえられたのでしょうか。ユダヤの例祭の「初穂の祭り」は二つあって、一つは過越の祭りの後の安息日の翌日(日曜日)に、もう一つは「五旬節」(ペンテコステ)に行われました(レビ記23章参照)。いずれも初物を主に献げる祭りです。主は、一つ目の「初穂の祭り」の日に復活されることにより、ご自分が死者の復活の初穂であることを示し(第一コリント15・20、23)、旧約の祭儀の中にある預言を成就されたのです。

祈り イエス様、あなたが王として葬られ、復活されたまことのメシアであられることを感謝します。

SY

試し読みはここまでです。

お気に入りましたら、

注文してください。



Penguin Club

<https://penguinclub.net>